

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営基本方針

国際物流のオーガナイザーとして、地球環境を守り、人とともに物流とともに快適未来を創造する遵法経営を推進

2 中長期の経営戦略

1. 物流事業の強化

保管施設への新規投資・修繕・更新を積極実施。データ分析で保管効率最大化し、適正価格収受で収益拡大を図る

2. 港湾運送のDX推進

遠隔操作RTG本格導入。Cyber PortやCONPASとターミナルオペレーションシステムの連携によるDX推進

3. 不動産事業の最適化

ビル機能の維持・改善でテナント安定入居を促進。適正な賃料水準確保で持続的な収益確保を目指す

4. 安全品質の徹底

手順書遵守と定期的な安全パトロールで『鈴江品質』の物流サービス提供。無事故無災害を目標に基本動作を徹底

3 対処すべき課題

① 労務費・原材料費の上昇

- ・人材不足に伴う労務費上昇が企業収益に影響
- ・中小企業では価格転嫁が進まず収益圧迫

② 物流業界の規制対応

- ・残業時間上限規制への対応が必要
- ・物流関連二法施行で荷待ち時間短縮・輸送効率化が課題

③ 地政学的リスク対応

- ・米国の関税措置による鋳工業生産の低迷に対応
- ・ロシア・ウクライナ危機や中東情勢によるエネルギー・物流への影響対応

面接で使えるポイント

- ・創業120周年を迎える2028年を見据え、『中期経営計画2025』を2年延長して『環境変化を勝ち抜くためのより強固な経営…』
- ・遠隔操作RTGの本格導入やDX推進で、次世代ターミナル運営に対応し競争力を強化している
- ・物流関連二法施行への対応を含め、『ステークホルダー満足度向上』『利益最大化』『組織力強化』『無事故無災害』の4つの基本方…

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
251億円営業利益率
4.4%財務健康度
25点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 37.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

